

*** ある日の育児日記から ***
 **** (20) ****
 佐藤 和代 ***

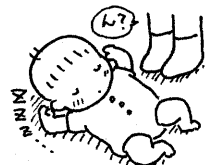


有は二か月。下の子の出現に、圭はどう反応するか。赤ちゃんがえりでもわがままでも受けたとうじゃない、となかば期待していた私です。ところがそれは、私が受けてたてない時にやってきてしまいました。敬の出張中、私がかぜで寝込んだ日。圭は私にまとわりつき、起きて起きてと泣きわめきました。ほとんどおもらしはしない子なのに、わざわざ私のふとんでもらします。授乳中は「こっちむいて」とひっぱり続けます。私是一日中、なだめたり叱ったりでヘトヘト。そんな状態が三日続き、カゼの熱と二人の泣き

声で私の頭はバニック状態。とうとう私まで泣きわめいてしまいました。「いい加減にして！ お母さんだつて一生懸命やってるのに、圭ばかりわがまま言つて！」あーこれでまた大泣きされるな！

ところが。圭はひとしきり泣いたあと、「エヘ」と笑ったのです。圭はもう笑うよ、お母さんも笑って、とでもいうように。そして、たまっていたものを吐き出してしまったせいか、いつも通りの圭に戻りました。

私がかぜをおこしておさまるなんて、ちょっとうれしかった気がしますが、スマートにもセオリ通りにもいかないところが、我が家らしさかもしれません。



有はベビーベッドからいなくなり、ときどきふまれてます。